

研究課題：漏斗胸に対する胸腔鏡補助下胸郭挙上術（Nuss 法）の有効性と合併症に関する検討

1. 研究の目的

漏斗胸に対する胸腔鏡補助下胸郭挙上術（Nuss 法）は一般的に施行される術式です。その効果や術後の状況に関しては、患者様自身の特徴が影響するといわれています。当院でこの手術を施行した患者様で、効果や術後の状況についてどのような項目が影響するか検討します。

2. 研究の方法

2014 年 1 月から 2025 年 12 月までに漏斗胸と診断され胸腔鏡補助下胸郭挙上術（Nuss 法）を施行した患者様が対象となります。
診療録から、身長、体重、術前・術後画像データ、手術時間、合併症の情報を調べまとめます。

3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から 2028 年 3 月 31 日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類

手術と、その後の経過を画像検査結果、カルテの記載から、調べまとめます。
画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター
研究責任者：外科 科長 川嶋 寛
研究分担者：外科 医員 松田 理奈

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲

内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の
代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡
先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構
埼玉県立小児医療センター
医事担当（代表 048-601-2200）